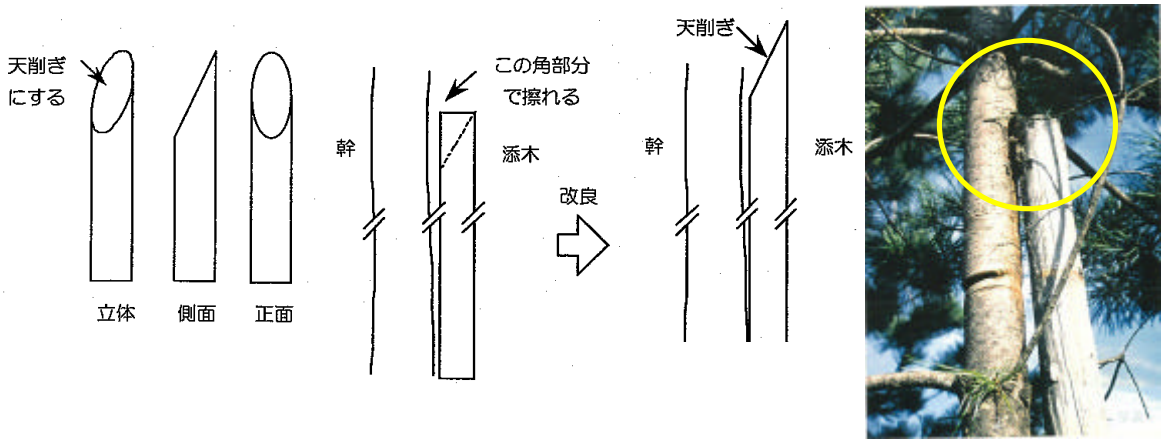
3-3-2.支柱対策－天削ぎ

支柱による樹木損傷を回避するため、天削ぎを行う

- 添え木（立木丸太）は風等によって樹木が揺れた際にこすれる場合があるため、頂部をそぎ落とし、樹木を傷つけないようにする

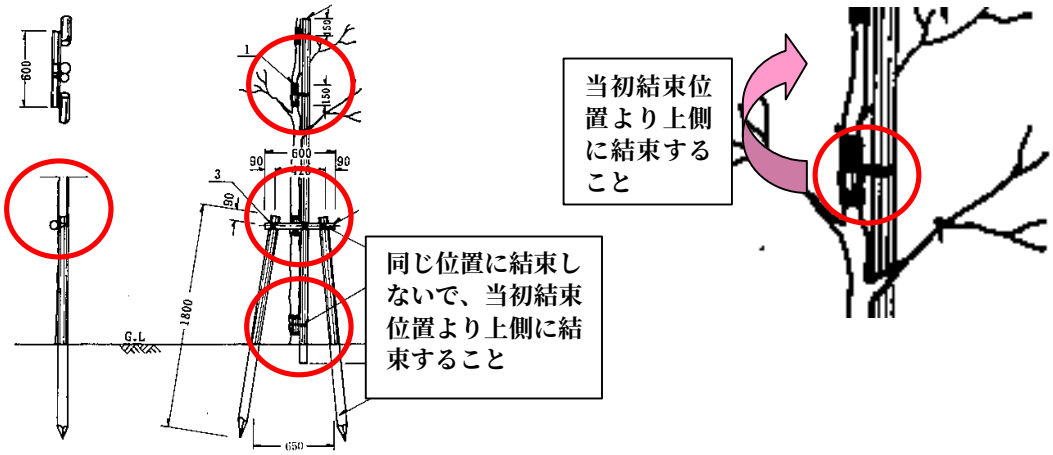


図：天削ぎの事例

3-3-3 根が活着しなかった時の支柱対策－結束位置変更

根が活着していない場合は樹木の成長に配慮し、支柱の結束位置を上側へずらす

- 植栽木が２年たっても根が活着しなかった場合は、支柱の食い込み防止を図るため、樹木の成長を見据え、結束位置をずらす。樹勢が良好でない時は、ひこばえ更新を図るなど、状況に応じて対応する
- 樹勢を見極め、丸印の箇所の結束位置を上側へずらす必要がある
- また植栽時には現場や苗畑での根切りを少なくし、活着を良くさせる対策が必要である



図：二脚鳥居型支柱（添え木付）の例